



KAKEHASHI Project (招へいプログラム) 米国 (日系人青少年第3陣) の記録

1. プログラム概要

「対日理解促進交流プログラム」の一環として、米国より日系人大学生・大学院生 56 名が来日し、日本の政治、社会、歴史及び外交政策に関する理解促進や、日本の魅力等の積極的な発信を目指し、平成 28 年 3 月 15 日から 3 月 22 日までの 7 泊 8 日の日程でプログラムを実施しました。

2. 参加国・人数

米国 56 名

3. 訪問地

東京都、神奈川県、石川県

4. 日程

- 3 月 15 日 (火) 成田国際空港より入国
- 3 月 16 日 (水) 来日時オリエンテーション、【講義】内閣府
【視察】海外移住資料館
- 3 月 17 日 (木) 石川県に移動
【学校交流】金沢大学
【歴史的建造物視察】金沢城公園
- 3 月 18 日 (金) 【歴史的建造物視察】日用神社、那谷寺
【地方自治体表敬】小松市役所
【地場産業/伝統文化体験】有限会社のむら農産
【ホームステイ対面式】
- 3 月 19 日 (土) 【ホームステイ】
- 3 月 20 日 (日) 【ホームステイ歓送会】、【ワークショップ】
- 3 月 21 日 (月) 東京へ移動
報告会 (訪日成果・帰国後活動計画発表)
【講義】日本 IBM 株式会社
- 3 月 22 日 (火) 【歴史的建造物視察】明治神宮・原宿
成田国際空港より出国

5. KAKEHASHI Project プログラム記録写真
 米国（日系人青少年）訪日団第3陣の記録



3/16【講義】内閣府（東京）



3/16【視察】海外移住資料館（横浜市）



3/17【歴史的建造物視察】金沢城公園（金沢市）



3/17【学校交流】金沢大学（金沢市）



3/17【地方自治体表敬】小松市役所（小松市）



3/18【歴史的建造物視察】日用神社（小松市）



3/18【歴史的建造物視察】那谷寺（小松市）



3/18【地場産業/伝統文化体験】有限会社のむら農産（小松市）



3/20【ホームステイ歓送会】（小松市）



3/21 報告会（東京）

6. 参加者の感想

◆ アメリカ 大学生

とても優しくて親切な日本の皆さまのおかげで私たちは素晴らしい時間を過ごすことができました。私は講義をとおして、働く女性やその考え方を学び、日本に対して、自分が今まで思っていた事とは違うことがわかりました。この素晴らしい経験を日系アメリカ人のコミュニティで分かち合いたいと思います。滞在中、日本の文化に常に触れていましたが、それでもまだ尚、本当の日本については知らないことが沢山あるとも感じています。

◆ アメリカ 大学生

私はお寺を訪問してその歴史と文化を学びました。滞在中私が出会った全ての日本人の親切な気質をアメリカで伝えていきたいと思います。様々な点において、アメリカと日本は異なっていました。両国の友好関係が引き続き継続されるため、また発展のさせしていくために、貢献していければと思っています。

◆ アメリカ 大学生

日本の社会や文化は、アメリカが見習うべきものでした。日本人は、他者を心から尊重します。これは、日本人のおもてなしの心や礼儀正しさ、他人をおもいやる態度から感じとることができます。日本について共有したいもう一つの面は、日本の美しさです。非日系人の中では、日本は最新の技術、アニメ、しっかりとした職業倫理感を持つ社会だと見られており、日本の美しさは正しく評価されていません。

◆ アメリカ 大学生

日本での滞在中、最も印象深かったのは、小松の文化です。日本へは以前来たことがあります、今回の小松市で体験したことは、多くの初めてのことで溢れていました。小松市は観光地として人気のある金沢市の隣にあるため、見過ごされがちであり、外国人と触れ合う機会も少ないと言っていました。観光地が少ないにも関わらず、小松市は文化と美しさに溢れていました。ホームステイの家族と一緒に過ごした時間の中で、私は剣道、茶道、書道、お箸とハンカチ作り、着物の着付け等の色々な活動に参加できました。お好み焼を作り、神社へも行きました。もし私がカリフォルニアでホームステイをすることになったら、彼らをこんなに多くの文化活動に連れて行くことができないでしょう。私は、帰国後、私が感じた文化の違いや素晴らしさを共有していきたいです。

7. 参加者の報告会での報告内容(帰国後の発信計画)/ プログラム中の発信内容

<p>真_Our Action Plan (Actions to be taken) アクションプラン</p> <p>Project Title プロジェクトタイトル</p> <p>WHY: (Reasons to do it) 考えられた理由 Word of mouth publicity for Japan, create a more wholesome "Japan brand" (image), encourage tourism.</p> <p>WHEN: (When will it be done?) いつやるか Fulfilled by end of April.</p> <p>WHO: (Who will do it?) 誰がやるか All.</p> <p>WHO: (To whom?) 誰に対してやるか University students, community members, online friends.</p> <p>WHAT: (Details of the action) 何をやるか HOW: (How to do) どうやってやるか</p> <p>*slide show/power point presentation. →community (church, recreation center, etc.).</p> <p>*Slide show/power point presentation. →School club.</p> <p>*Media outlet, interview. →Local newspapers.</p> <p>*Social media – photos. →Face book, Instagram, youtube.</p> <p>*Student media outlet, interview or article. →School newspaper, school blog.</p> <p>*Social media – blog/vlog. →You tube, online website.</p>	<p>Sunny Pisano with Jessica Mock and 5 others in Minato-ku, Tokyo, Japan. March 15 at 8:00pm</p> <p>BC POWER!!!!!! Yes, we found each other 😊</p>
<p>アクションプラン</p>	<p>Facebook 発信</p>
<p>Immediate Action Plan 2</p> <ul style="list-style-type: none"> Peer-to-peer mentorship <ul style="list-style-type: none"> Informal Takehashi participant database JICE shares information with high school and/or college students interested in learning about U.S. life Projected Outcomes: <ul style="list-style-type: none"> Building bridges between Japanese and American students w/o needing to expand organizational infrastructure 	<p>Bethany Ezawa added 31 new photos to the album: #oegoeshome — with Aileen Granstrom and 2 others. 21 hrs</p> <p>Thanks to the Japanese American Citizens League, the Japan Ministry of Foreign Affairs, and the Japan International Cooperation Center, I'm headed "home!"</p> <p>David Mura writes about his first journey to Japan in "Turning Japanese: Memoirs of a Sansel."</p> <p>"...as we tumbled into the terminal at Narita, I was exhausted and exhilarated. Frightened. Astonished that all the faces at customs looked like mine..." See More</p>
<p>アクションプラン</p>	<p>Facebook 発信</p>